科目ナンバリング	U-LAS40 20001 LJ26						
授業科目名<英訳>	精神病理学Ⅰ Psychopathology I			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 藤井　あゆみ		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

人間が無意識の力によっていかに衝き動かされているか，このことを精神力動的観点から明らかにしようとしたのが，精神分析の祖ジークムント・フロイトだった。彼の思想は，20 世紀の欧米諸国を席巻し，現代思想の源流と言われるまでになったが，なぜそれほど人々を魅了したのだろうか。本講義では，フロイトの基本的な理論とその理論が成立した背景を解説したのち，フロイトの欲動論がその弟子たちの対象関係論へと徐々に移行していった過程を概観する。最後に，精神分析の理論と実践の教育機関として 1920 年代にベルリンに創設された世界初の精神分析インスティテュートの成り立ちとそこで行われていた精神分析家の養成課程を紹介する。この機関から輩出した分析家たちによってフロイトの理論は根本的な刷新を被ったが，本講義ではそうしたフロイト以降の分析家たちの理論の多様性についても紹介を行い精神分析の今日における意義を考えてみたい。

[到達目標]

フロイトの精神分析理論とその成立の背景を学ぶことによって，自分の内にある他なるもの(無意識的なもの)について考えてみることができるようになる。また，同時に精神分析の問題点についても考察し，それに対する批判的視点も持てるようになる。

[授業計画と内容]

1. 導入ー言葉による無意識へのアプローチ
2. 精神分析前史ー無意識の発見
3. ヒステリー研究と談話療法
4. エディプスコンプレクスの発見と精神分析の誕生
5. 夢解釈と精神分析運動の広がり（1）
6. 夢解釈と精神分析運動の広がり（2）
7. 性理論と精神分析技法の発展（1）
8. 性理論と精神分析技法の発展（2）
9. ナルシシズム論の導入
10. メランコリー論と対象概念
11. 欲動論の展開
12. 対象関係論への道
13. 精神分析インスティテュート
14. 総復習

《期末試験》

15. フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業内の小レポートないし小テスト（5点×6）、ディスカッションシートの提出（5点×6）、試験（40点）

・レポートは全回提出を必須とする。

精神病理学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

精神病理学Ⅰ(2)

・各レポートは課題に応じた到達目標の達成度に即して評価する。
また、独自の工夫が見られるものについては特に評価する。
・5回以上授業を欠席した場合には、不合格とする。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
藤井あゆみ『メランコリーのゆくえ-フロイトの欲動論からクラインの対象関係論へ』（水声社、2019年）ISBN:978-4-8010-0419-1（必ずしも購入しなければならないものではありません。講義の後半で取り上げたいと考えている文献ですので，その際に図書 館などで借りて参照すると，講義がよりよく理解できます。）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前に前回の講義内容について復習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

シラバスは目安であり、クラスのレベルを見ながら適宜変更を加えることがあります。また、ディスカッションを多く取り入れるため、その内容によっては進度が遅くなることもあります。
連絡等は授業前後に直接取るようにしてください。

[主要授業科目（学部・学科名）]